

ご閲覧ありがとうございます。

のぞみスクール龍田教室長及び中3講習担当の吉良と申します。

〔授業指針〕

- ・志望する公立高校に学力入試で合格する学力を身につける。
- ・志望する私立高校（滑り止め含む）に特待入試での合格を実現する。
- ・自分の将来を見据えて取り組む。

春季講習から、次の定期講習に向けて、それぞれの生徒に過去最高得点および最高順位を獲得するくらいの強い意思を持たせ、来るべきテストに向けて早速準備を開始します。また、この3年生の内容は、高校入試においても非常に重要です。さらに、高校に入ってから学習内容にも大きく影響します。

〔科目別内容〕

《数学》

2学期末テストまでは先取り学習によるテスト対策です。その後は、冬休みまでには「中3数学」の内容を終え、1月からは、過去問や予想問題等を用いて実践的な訓練を繰り返し行い、入試タイプの問題に慣れさせます。そして、準備を完了して、最高に良い状態で本番に臨みます。

そのために、3年生の一学期の内容の一つ一つを丁寧に確実に理解していかなければなりません。わからないと勉強が面白くなります。数学は、ほぼ全ての講習日に予定しております。極力、塾を休まないようにお願い致します。

《英語》

当面、中学3年生の英語を教科書に沿って講習致します。創作プリントで基礎を徹底し、繰り返し繰り返し解くことにより基礎学力を身につけます。

加えて、「使える英語、話せる英語」を目指します。英語は入試5科目の中で、唯一の「実務科目」です。中学英語（基礎英語）はもちろん、そこから飛び出して、「使える英語、話せる英語」を身につけて欲しいものです。

英語は言葉です。我々は難なく日本語を話せます。同様に英語も日々の訓練を行えば、必ず話せるようになります。

道のりは険しいかもしれませんが、ご褒美である達成感は大きなものです。そして、将来、役に立てようと思えば、最も役に立つ科目であります。大きな見返りを受け取って下さい。

個人的に最もできるようになって欲しい、力を入れて欲しい科目です。

《全体的に》

私は、準備をしておくが大切と考えます。つまり、先取り学習です。学校のみならず知らないことを、先に塾で学んでおくことで、学校のみならず優越感を持つことができ、それは勉強に対して「前向きなやる気」になれるからです。その優越感は自信につながり、勉強が楽しく思えるようになるはずで、学年上位の生徒たちはその快感に酔っているから、覚めたくないで、ずっとその位置にいます。学校の授業は復習として取り組んで下さい。

高校入試はやがて必ずやってきます。その日に備えて、1日でも早くから「準備」をしておきたいものです。そして、この来るべき日のために準備をしておくことの考え方は人生の至るところで重要になると考えます（私も国家試験等受けたことがあります、かなり早い段階から準備に取り掛かります）。

時間的な問題で、全ての科目で「先取り学習」ができるわけではありませんが、基本的にそのスタンスでやってきました。（何より生徒たちがそれを望むようになります）少なくとも数学と英語は先取り学習です。

中1、中2の講習では、個別指導型で基礎をしっかりと築いていくことと、勉強が嫌いにならないように細心の注意をはらって学習指導を進めていきます。

高校入試を控えるということは、その個人の人生のみならず、保護者の方々等も含めて多くの人に関わる重要なことと考えます。他の生徒のことも考え、講習への参加にふさわしくないと判断した場合（授業態度等）、休塾を勧告することがあります。

最後になりますが、勉強は決して高校入試のためにやるものではありません。将来の豊かな生活、好きな仕事に携わるため、豊かな人間性を育むため、世の中の悪に騙されないため、など多くの恩恵があります。その恩恵を受けて、輝く人生を歩んで欲しいと強く思って、学習指導をしていきたいと思ひます。

敬具



吉良 伸一郎

